

ペルー地震被災者支援へ

AMDA

調整員リマに出發

南米ペルーで発生した

大地震の被災者支援のため、国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市櫓津）の谷口敬一郎調整員（三）岡山市が十八日、岡山空港を出發した。十九日午後、首都リマに入り活動を始める。

（8面関連）

谷口調整員は、沖縄市からの渡久地宏文医師と成田空港で合流。二人はペルーや隣国ボリビアのAMDA支部メンバーとともに、必要な物資の把握に努めるほか診療活動を行い、九月上旬に帰国

する予定。

AMDAによると、地震による死者は少なくとも約五百人で、交通や通信が寸断され詳細な状況はつかめていないという。出發前、谷口調整員は「現地の行政機関とも連携して詳しい情報を集め、早急にサポートを進めたい」と話した。

AMDAは郵便振替（01250-2-40709）で寄付金を受け付けている。口座名はAMDAで、通信欄に「ペルー沖地震」と記入する。
（臼杵正純）



出發前の打ち合わせをする谷口調整員（左）＝岡山空港